

1 単元名 3人の武将と全国統一

2 授業構成

(1) 教師と教材

本単元は、小学校学習指導要領において

内容(1)オ キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。

と位置づけられている。

本時の学習は、鉄砲伝来からわずか半世紀で世界有数の鉄砲保有国となった様子を学習する。鉄砲の使用で戦い方が変化し、鉄砲が織田信長の業績につながっていることをとらえる。鉄砲を視点の一つとして、この時代を解釈していきたいと思い、本単元を構成した。

(2) 子どもと教師

児童は、本時までには3人の武将がどのように全国統一を果たしていったか、彼らの行った政策を年表や資料を読み取る活動を通して学習してきており、OPP(One Page Portfolio)にまとめてきた。

本時は、鉄砲伝来から合戦までの鉄砲使用数の変化や織田信長の鉄砲に対する考え方を中心資料として取り扱う。当時の日本で鉄砲が躍的に普及した背景を考え、また織田信長の戦略にふれることで、歴史を学ぶ楽しさを児童が味わえるだろう。様々な資料を読み取る中で、「なぜ」という問いを持ち、その背景を考察することは社会認識の力を育成できると考える。また、自ら課題を設定し、学びを楽しむ姿がそこに見られる。「なぜ」という問いを持ちながら、物事を見ようとする学び方を身につけさせたい。

(3) 子どもと教材

本時では、1543年に種子島に漂着したポルトガル人によって日本に初めて鉄砲が伝えられたわずか2挺の鉄砲が、32年後の長篠の合戦のときには、織田軍によって千から三千挺も使用され、わずか半世紀後の関ヶ原の合戦時には、およそ五万挺が投入されたという事実を知らせる。この頃の日本が世界でも有数の鉄砲保有国となったことに着目させ、その背景にある戦国大名の需要と日本人鍛冶職人の知恵と努力を感じさせたい。また、織田信長の三段構えの鉄砲一斉射撃や、鉄砲を購入するのではなく作っている町ごと手に入れるという戦略や先見性を感じることで、歴史を学ぶ楽しさを味わわせたいと考えた。

3 単元の目標

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の武将による全国統一の様子に関心をもつようにするとともに、戦国の世の中が統一されていく様子や、鉄砲やキリスト教の伝来と国内への広まりの様子について理解する。

4 学習計画(全7時間)

第1時 3人の武将と戦国時代について知ろう。

第2時 織田信長が全国統一において果たした役割について考える。

第3時 豊臣秀吉が全国統一において果たした役割について考える。

第4時 徳川家康が全国統一において果たした役割について考える。

第5時 鉄砲が伝来してから銃大国日本となった様子について知る。

第6時 織豊時代の政策について話し合い、兵農分離について考える。

第7時 3人の武将の中から一人を選んで新聞にまとめる。

5 本時の学習について

(1) 本時の目標

戦国時代における鉄砲の価値について話し合う中で、織田信長の業績について理解する。

(2) 期待される児童の様相

- A 戦での鉄砲の活用方法や当時の世情を、織田信長の業績と関連づけて理解できる。
- B 鉄砲伝来と国産化の内容を理解し、戦国時代における鉄砲の役割についておおまかに理解できる。
- C 鉄砲伝来と国産化のおおよその内容を理解できる。

(3) 本時の展開 (○教師の意図 ◇支援)

学 習 活 動	教師の支援・意図
1. 鉄砲伝来の様子と鉄砲を使った戦の様子についての資料を見ながら、鉄砲の数の変化について予想を話し合う。	○鉄砲伝来から関ヶ原の戦いまでの50年間で長篠の戦いを境にして、鉄砲の数が急激に増えたことに気づかせ、本時のねらいへとせまりたい。
なぜ、たった50年の間にこれだけ鉄砲が増えたのだろうか。	
2. 戦国時代の鉄砲の存在価値について話し合う。	○現在の戦争と比較しながら、鉄砲の果たす役割の大きさについて考えさせ、戦い方の変化に気づかせたい。
(1) 鉄砲伝来と国産化の早さについて知り、戦国時代の鉄砲の価値について考える。	◇種子島の場所を地図帳で確認し、遣明船の中継点であったという位置関係に気づかせる。 ◇鉄砲がどのように日本各地に伝わったか、また国産化の早さを年表で確認しながら、日本人の技術力の高さと苦勞に気づかせる。
(2) 火縄銃の使い方や役割について知り、戦い方の変化に気づく。	◇長篠の戦いの絵や火縄銃の使い方の動画を見せ当時の戦の様子がどのようなものだったかを知らせ、鉄砲の役割について気づかせる。 ○戦国時代、各地を治める戦国大名達がしのぎを削っていた様子の年表や地図を見せながら、戦での鉄砲が果たす役割について考えさせたい。
3. 全国統一を果たすのに鉄砲が大きな力を持っていたことを知り、織田信長の戦略や先見性、業績についてまとめる。	○信長が鉄砲の重要性にいち早く気づき、国友や堺といった鉄砲生産地を押さえたことを話し、信長の先見性を感じさせたい。 ◇OPP (One Page Portfolio) にまとめることにより、今までの学習との関連や今後の学習の見通しを持って学習を終えるようにする。